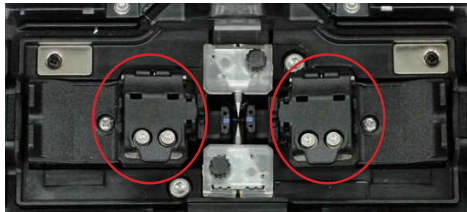


シースクランプ使用の融着接続手順

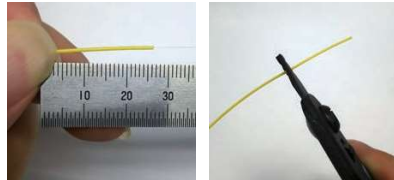
■シースクランプ(下図赤丸部)とは融着接続機に固定されており、ファイバホルダと同等機能の機構です。ファイバホルダより開け閉めが容易で250 μ m～3mm被覆が1つのシースクランプで対応できるため、複数種類のファイバホルダの用意が不要です。このページではシースクランプ使用の融着接続手順をご説明します。



■使用機器及び工具例
融着接続機(31S/41S/70S+)、光ファイバカッタ(CT50)、単心光ファイバストリッパ(SS01/SS03)

手順1 光ファイバの被覆除去・清掃

光ファイバの被覆を除去・清掃します。この時被覆の端を持ち手から約25mm*以上離すと持ち替えずに融着作業まで出来ます。



*切断長により変わります

*光ファイバの円周をまんべんなく10回ほどアルコールを含ませたガーゼ等にて拭いてください。
*アルコールは純度99%以上のものを使用してください。
*ガーゼ類は毎回きれいな物を使用してください。

手順2 光ファイバの切断

光ファイバカッタはファイバプレートを取り付けて使用します。



*CT50の場合
標準添付のAD-50

光ファイバをファイバプレート溝に乗せカットします。



*ファイバホルダと同じ切断長にする場合、被覆端を目盛りの10に合わせます。

手順3 光ファイバを融着機にセット

(1)切断した光ファイバの先端がV溝から電極棒の間に収まるようにシースクランプへセットします。



(2) 逆側の手でシースクランプの蓋を開けてセット完了です。



*反対側も手順1～手順3を実施して融着接続機にセットします。



手順4 融着接続

左右から光ファイバが前進して接続作業を行います。途中でエラー表示が出た場合には、画面表示に従って対処して下さい。

手順5 光ファイバを取り出す

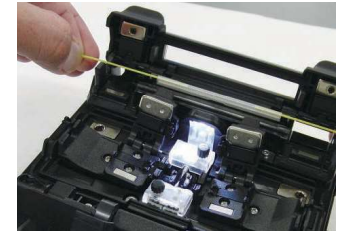
(1) 補強スリーブをシースクランプの蓋付近まで持ってきます。
(2) 補強スリーブの外側の光ファイバを手で把持しながら、シースクランプの蓋を開けます。この時、光ファイバが弛まないように、軽く引っ張りながら蓋を開けます。同じ手順で、もう一方の光ファイバも取外します。このとき、光ファイバを左右に軽く引っ張りながら作業してください。



*蓋の真横で光ファイバを持ち続けるとスリーブが所定の位置に移動します。

手順6 加熱収縮

光ファイバを加熱器へ移動し加熱補強を行い終了です。

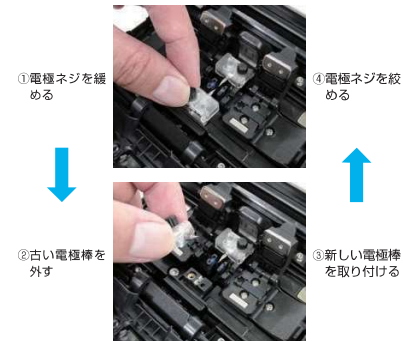


31S/41S 放電電極棒の交換

■放電電極棒は放電のたびに摩耗し、微粒子のガラスが付着します。そのまま放電電極棒を使用すると接続損失の増大や接続点の強度不調の原因となります。
*交換時期は31S/41Sで放電5000回です。
■放電の異常を感じた場合は放電検査、放電電極棒の安定化を実施してください。

電極棒交換手順

(1) メンテナンスメニューの画面で電極棒交換アイコンを選択してください。
(2) 電源を切るように指示されますのでSETキーを押して電源をOFFにしてください。
(3) 手で電極棒を固定しているネジを緩めてください。
(4) 古い電極棒を取り外してください。
(5) 新しい電極棒を取り付けます。
(6) ネジを絞めて電極棒を固定します。



*電極棒の先端をぶつけないように注意してください。

(7) 電源をONにし、口出したファイバを左右にセットしてください。風防を閉め、SETキーを押すと連続放電による電極棒の安定化が始まります。



(8) 連続放電が終了すると、続けて放電検査が始まります。放電検査が[検査終了]が表示されるまで繰り返し実施してください。